

大津 エンパワ ねっと通信



〒520-2194
滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷大学瀬田キャンパス内
大津エンパワねっとオフィス(2-202教室)
TEL:077-543-7691 FAX:077-543-7615
E-mail:shakaigp@ad.ryukoku.ac.jp
【ホームページ】http://www.soc.ryukoku.ac.jp/gp/index.html

TOPICS

09 年度 大学と地域をつなぐ特別講義 II

▽「大学と地域をつなぐ特別講義 II」とは…

大津市中央地区と瀬田東学区で地域の活動をされている方にお話を伺います。講師の先生は2回生後期からはじまる「地域エンパワねっと実習」などで、具体的な取り組みを一緒に進めていくことになる方々です。

「地域エンパワねっと実習Ⅰ・Ⅱ」(2009年後期・2010年前期)の履修を希望する2年生は、「大学と地域をつなぐ特別講義Ⅰ」(2008年度後期開講)と「大学と地域をつなぐ特別講義Ⅱ」(2009年度前期開講)を履修する必要があります。(その他、対応科目※の履修も必要) **詳しくは、大津エンパワねっと掲示板で確認してください!!**

	日時	開講する科目名 【学科名】	テーマ・内容	講師	教室
1	5/28(木) 1 講時	社会学概論 【社会】	大津市の中心市街地活性化の取り組み 大津祭と町家再生	大津市都市再生課 高野 早人氏 NPO 法人大津祭曳山連盟 白井 勝好氏	3-107
2	5/30(土) AM		瀬田東学区 まちあるき	瀬田東学区まちづくり推進会議 高橋 三喜男氏 長野 五郎氏	
3	6/29(月) 3 講時	社会福祉 援助技術論Ⅰ 【地域福祉】	(仮)「瀬田東学区の地域活動について」	瀬田東学区社会福祉協議会会長 井上源太郎氏 民生児童委員 若原 邦子氏	3-107
4	6/30(火) 1 講時	社会福祉 援助技術論Ⅰ 【臨床福祉】	(仮)「地域から学ぶ ～高齢問題からみた地域活動への支援」	大津市中地域包括支援センター 齋藤 暢子氏	4-209
5	6/26(金) 4 講時	【コミュニティ マネジメント】	(仮)「スポーツとまちづくり」	瀬田東学区体育協会 井ノ口 寿行氏	3-108
6	調整中		中央地区 まちあるき	中央地区地域のみなさま	

※2・6のまち歩きについては後日別途告知します。

※講師やテーマは変更になる場合があります。

TOPICS

地域エンパワねっと実習Ⅱ 始動



瀬田東学区での会議に出席した実習Ⅱの学生

2008年9月より、「地域エンパワねっと実習Ⅰ」の中で学生たちが瀬田東学区・中央地区それぞれの地域活動に参加・協力しながら、取り組みを進めてきました。その学生が4月に3回生になり、地域の皆さんと課題解決のプロジェクトを企画・実施していくプログラム「地域エンパワねっと実習Ⅱ」が始まりました。実習Ⅰでの取り組みをより深めたいと52名が受講しています。

実習Ⅰで試行錯誤しながらも報告会やフォーラムをやり遂げた学生たち。4月に入り、ますます凛々しくなったように感じます。実習Ⅱでは学生が自主的に地域の人にアポイントをとって、地域の活動に参加しているグループが増えてきました。また、実習Ⅰで苦労した経験や学んだことを次の学生さんに知ってもらい、地域活動に興味をもってもらおうと1年生や2年生対象の授業でプレゼンをしたグループもあります。みんなそれぞれに実習Ⅰで学んだことを活かし、実習Ⅱに取り組んでいます。

TOPICS

新推進委員メンバー紹介

大 工藤保則

- ①教育社会学、現代文化論
- ②③「大津エンパワねっと」の授業をとると、コミュニケーション能力が高まり、課題解決力が付き、そしてなによりも充実感が味わえます。「しんどいけどすごく楽しい」ということを、存分に、味わってほしいと思います。

津 加藤 剛

- ①比較歴史社会学
- ②私達が一生で出会う人の数は知れています。だからこそ一度きりの出会いであっても、かけがえない出会いとして大事にしたいものです。③「蛇行する川には 蛇行の理由あり 急げばいいってもんじゃないよ」(俵万智の短歌)

工 久保和之

- ①レクリエーション、スポーツマネジメント
- ②大学で学ぶ知識や技術を活かす場としてとても良い機会だと思います。現場に出て多くの知識やコミュニケーション技術の必要性を感じてください。③失敗を恐れずにチャレンジしていきましょう。

早いもので、この取り組みも3年目を迎えることとなり、推進委員の先生も各学科2名→3名に増え、さらにパワーアップしました。初年度よりこのコースを受講している学生さんの成長ぶりに負けられない、推進委員の先生方も気合が入っています。そんな新メンバーの先生方にコメントをいただきました。

大津エンパワねっと、3年目をむかえました。



- ①専門科目
- ②大津エンパワねっとについて
- ③学生に向けて一言

ねっ 山田 容

- ①児童福祉、ソーシャルワーク
- ②昨年からの学生達の姿を見て、大学での学びが地域の生活の営みに触れることで、生き生きとした知恵と力に結びついていくのだと感じました。何かお役に立てればと思っています。③未熟でも構いません。失うものより得ることを大事にしましょう。

ワ 栗田修司

- ①福祉の相談・支援・援助、消防隊員のメンタルヘルス
- ②3年目の「大津エンパワねっと」が、地域にもっと浸透するよう願っています。
- ③地域に浸透するには、学生の自由な発想と行動力が決め手だと思います。ガッツ!!

パ 荒田 寛

- ①精神保健福祉、ソーシャルワーク
- ②現場で何が起きているのかを知る絶好の機会です。
- ③地域で暮らす人々との触れ合いから、大学での学習課題を見つけて欲しいと思います。

フレッシュャーズキャンプで

「大津エンパワねっと」紹介!!



新入生を前に説明をする脇田先生

4月5日、今年も、琵琶湖グランドホテルで新入生を対象にしたフレッシュャーズキャンプが開催されました。晩には、ホテルの大広間に集まった新入生全員が「大津エンパワねっと」の説明を受けました。現在、3回生の先輩たちは「地域エンパワねっと実習Ⅱ」に取り組んでいます。新入生の皆さんにも、先輩たちがつくりあげてきた成果を受け継ぎ、発展させていってほしいですね!! (推進委員 脇田)

スケジュール・お知らせ

5月

- 22日：大津エンパワねっとを進める会・中央
- 25日：大津エンパワねっとを進める会・瀬田東
- 27日：学内エンパワねっと推進会議
- 28日：第1回大学と地域をつなぐ特別講義Ⅱ
- 30日：第2回大学と地域をつなぐ特別講義Ⅱ

【瀬田東まちあるき】

<事務局より>

大津エンパワねっとも3年目になりました。文科省の助成としての取り組みは最終年度を迎えます。初年度から活動に参加している学生さんにとっても区切りの年となります。昨年度以上にこの取り組みがパワーアップしていけるよう、事務局としてバックアップしていきたいと思ひます。